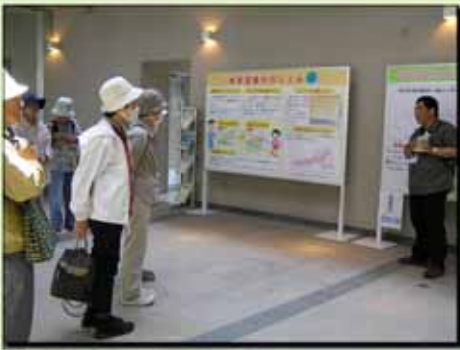


5月のゆるりん歩き「竹の観察」

平成19年5月12日(土)
13:30~14:45
参加者数 15名



13:15~受付を開始。
13:30 ゆるりん歩き開始です。
講師の小沢さんの紹介をし、
皆さんでゆるりん歩きをします。



総合公園内の客谷古墳付近を歩いて観察します。
この日はお天気が良く、暑いくらいでした。



まず、さくらの丘東側の山について。
松林やアベマキなど雑木林になっていて公園となる前は里山として活用されていた林であること。
マツが枯れる原因ともなる松くい虫が心配されていますが、この林はまだ大丈夫のようです。
気温が上昇すると松くい虫が発生することがあることなどをお話いただきました。



さくらの丘からあんずの里へ移動する際、斜面にコマツナギの花が咲いていました。
コマツナギは漢字で書くと「駒繫」。
馬をつないでおくことができるほどひきにくいからだそうです。
コマツナギも日本にあるものと外国から来たものがあるようです。
緑化のために斜面にタネを吹き付けることがあるそうですが、そのタネが中国で作られたり、北海道で作られたりしているので、もともとはその場所になかったものが見つかることも多くなってきたそうです。



あんずの里を越えると、客谷古墳口です。
古墳の入り口にはたくさんのクサイチゴが赤い実をつけていました。
クサイチゴはトゲがあるので注意しながら参加者の皆さんでイチゴ摘みをしました。



古墳への散策路を少し入ると竹林が広がっています。
竹は草と木と両方の特徴を持っていること、
竹は根が地面いっぱい這うので、土を浮かしてしまっって他の植物が根をはることができないことなどを教えていただきました。



途中、ヘビイチゴもありました。
ヘビイチゴは毒があるといわれていますが、無毒で食べても美味しくないことから毒があるといわれるようになったそうです。



かえでの谷の方から都市環境学習センターへと歩きます。
竹林の中は日影が多くて涼しく感じました。
池では親子でザリガニ釣りを楽しむ姿も見られました。